

キラキラネームというカテゴリ

2年3組 小山真白

動機

「キラキラネーム」についての記事を読み、名前についての関心を持った。

1. 親がキラキラネームを名付ける理由

方法

『名づけの世相史「個性的な名前』をフィールドワーク』を読み、親がキラキラネームを名付ける理由を考える

結果

- ・現代の親たちが「珍しい名前」を付ける動機は、「個性」という一語に要約できる
- ・これまでに見たことのない「珍しい名前」が急増し、「読みない名前」が溢れつつある
- ・「個性的な名前」ブームにおける「個性」とは、その属性において求められるものではなく、他者との差異に基準を置いたものである

考察

- ・個性的な名前には、「珍しい名前」と「読みにくい名前」の2つがあるのではないか
- ・名前の差異化とは？

2. 「珍しい名前」と「読みにくい名前」の違い

方法

『たまひよ 赤ちゃんのしあわせ名前事典 2020～2021年版』からピックアップ

結果

キラキラネームだと考えたもの	いちご（苺）
	りづむ（璃澄）
読みにくい名前だと考えたもの	麗（うらら）
	元緋（あさひ）

考察

- ・区別は主観的でしかないため、違いを明らかにするのは難しい
- ・時代における名前の変遷や人々の名前に対する認識に重点を置く方が、名前の多様化や個性化をより理解できるのではないか

参考文献

小林康正 (2009) 『名づけの世相史「個性的な名前』をフィールドワーク』(風響社)

『たまひよ 赤ちゃんのしあわせ名前事典 2020～2021年版』(2020 ベネッセコーポレーション)

「明治安田生命 名前ランキング」

<https://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/ranking/index.html> (2021/2/15 アクセス)

【令和元年！<子どもの名づけ調査>発表】「ミキハウス出産準備サイト」にてママ・パパ 4117 名の名づけ調査を名前研究者が徹底分析

<https://prtentimes.jp/main/html/rd/p/000000008.000027487.html> (2021/2/15 アクセス)

3. 名前の多様化

方法

名前ランキング内の名前に使われる漢字の読み方の変遷を捉える

結果

「明治安田生命名前ランキング」より

- 例1 1999年 大輔（だいすけ）
2005年 大翔（ひろと）
2005年 大輝（だいき）
例2 1978年 陽子（ようこ）
2019年 陽菜（ひな）、陽翔（はると）

考察

- 名前における漢字の読み方を変えることで、差異化をはかってきたといえるのではないか
- こうした差異化が他の漢字でも行われていて、名前の多様化が進んでいった
そういう意味で、「キラキラネーム」と「そうでない名前」(以後 一般的な名前と表記)はさほど違わないのではないか

4. キラキラネーム、名前に対する認識

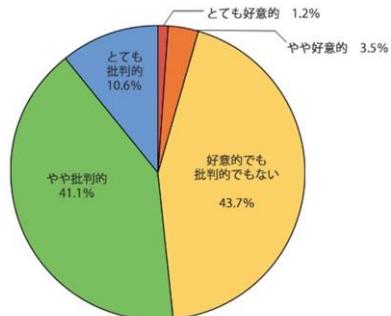
方法

人々がキラキラネームに対してどのようなイメージを持っているのかを「子どもの名づけ調査」をもとに考察する

結果

「ミキハウス 子どもの名づけ調査」より

【「キラキラネーム」についてどのように思いますか？（単回答）】



<回答者数：5086人>

51.7%の人々が「キラキラネーム」に対して批判的である。

考察

- 「キラキラネーム」は第三者から見た評価であり、その評価は主観に基づいたもの
- 「キラキラネーム」という言葉を認識したことで、名前を自分の感覚だけでカテゴリー分けするようになり、その結果「キラキラネーム」という言葉に対して人々が、それぞれに違ったイメージを持つようになったのではないか

考察

・名前の多様化は必然的なことである。(1と3から)
キラキラネームといわれる名前の誕生は、そうでない名前の延長である。新しく生まれた名前を、第三者がひとくくりにしたものが「キラキラネーム」であり、当事者にとってはくくることに何か重要な意味がある訳ではない。

・「キラキラネーム」という名前の新しいカテゴリーを認識した人々は、それと同時に「一般的な名前」というカテゴリーも認識しており、自身の名前、他者の名前がキラキラネームであるのかないのかを無意識的に判別するようになった。

結論

キラキラネームという言葉は存在するが、そのカテゴリーに分類される名前は無い。あくまでキラキラネームは第三者が評価するものであり、その基準は世代や個人の感覚によって異なる。